

## 「日本気象学会夏期特別セミナー（第5回夏の学校）」の報告

### 第5回夏の学校実行委員会\*

日本気象学会若手会による標題の企画を、1994年7月30日（土）～8月1日（月）に山梨県南都留郡勝山村の河口湖サン・コートで催した。参加者は、9大学、3研究機関、2気象官署、2企業からの総勢78名であった。以下はその報告である。

#### 1. 趣 旨

「夏の学校」は1990年、春秋の大会では不充分とありがちな、若手研究者どうしの研究に関する議論や情報交換の場を、長期の休みが取れる夏期に設ける目的で始まった。その後、目的には若手研究者の親睦と交流を深める事も加えられ、5年目を迎えた今回も、同じ目的を掲げて催すこととなった。今回は、在勤者も参加しやすくする事を考えて、3年振りに週末を含む3日間の開催とした。参加者の様々な専門分野を考慮し、また多方面の分野に関心を持ってもらう事も考えて、招待講演を2本立てとし、一般講演についてはテーマを特に設定しなかった。

#### 2. 日程と内容

初日は午後現地集合し、夕刻から研究室紹介を行った。主に道路事情で集合が遅れたため開始を繰り延べたが、幸い予定の時間枠に納める事ができた。内容は、構成員と専門分野を詳しく説明したものから、研究室内外での生活を紹介したものや地元の祭の紹介、更には気象予報士試験の「予想問題」までも個人的なものが多く、常連だけでなく初めての参加者にも親しみを感じさせた。夕食後は懇親会を開き、全体会の終了後も各室での交流が深夜まで続いた。

2日目の日中と3日目の午前、下記のように招待講演及び一般講演を行った。

#### ・招待講演

- 岩坂 泰信（名古屋大学・太陽地球環境研究所）  
「地球環境—マイクロに見てマクロを理解する—」  
内藤 勲夫（国立天文台・水沢観測センター）  
「大気水圏地球系の角運動量収支  
—地球回転運動に映し出された大気水圏の  
振舞い—」

#### ・一般講演

- 大和 政彦（群馬大学・教育学部）  
「いまさらエアロゾル？」  
本田 明治（北海道大学・低温科学研究所）  
「オホーツク海の海水とその周辺域の気象要素  
とのかかわりについて」  
沼口 敦（国立環境研究所）  
「熱帯の積雲は気候システムで何をしているの  
か？」  
堀之内 武（京都大学・理学部）  
「赤道波の励起と伝播について」

各講演の詳しい内容は、ここでは省略する。発表に積極的な講演者が多くだけあって、様々な手法を駆使した、いずれも判りやすい講演であった。今回は時間枠を、質疑も含めて40分に短縮したのも効果があったと思われる。映写機の作動不良と会場の遮光の不充分さのため、折角のスライドが見づらくなったことを講演者をはじめ参加者にもお詫びしたい。

2日目の夕刻は自由討論会とした。有志によるシンポジウム「気象学—今、何が問題なのか？」が開かれ、30名程の参加があった。話題提供の内容は、境界層観測の問題、起伏地形上での気象データの空間代表性、人間による気候改変の検出法などであった。必ずしもまとまった研究内容の発表ではなかったが、他の講演とは異なり飲物も出る気楽な雰囲気が進められ、研究を進める上での実感としての疑問も含めた本音の部分を垣間見せた。

また2日目の夕食後の自由時間には、翌日の招待講演者の希望でその導入となる小講演会「若き気象研究

\* 皆巳 幸也・松月 昇・吉本 直弘・田中 久理・森 昌彦・坂木 直美・竹内 紀江、(名古屋大学・大気水圏研)。

者たちへ（水沢の田舎からの伝言）」を催した。これにはほぼ全員が参加したが、一部に参加が強制であると誤解があったのは残念であった。内容は近代の天文学・現代の宇宙科学・これからの環境科学における一観測所の位置づけを中心としたものであり、翌日の講演にもつながる有意義なものであった。

3日目の講演終了後に反省会を行い（その場では特に意見なし）、次回の主管を北海道大学に依頼して閉校した。

### 3. おわりに

今回の「夏の学校」の開催にあたり、当学会の講演企画委員会から補助金を戴きました。また、当学会事務局には開催の広報、補助金の受領をはじめ色々とお世話になりました。ここに記して感謝の意を表します。なお、宿泊人数の制約から、一部の会員には申込みをお断りせざるを得ませんでした。お詫びすると共に、次回以降の積極的な参加をお願いします。



## 海洋理工学会 平成7年度春季大会ご案内

会 期：平成7年4月4日(火)・5日(水)  
 会 場：学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28）  
 参加費：一般3,500円、一般学生2,000円、正会員1,500円、学生会員1,000円(いずれも要旨集1冊を含む)

4月4日(火) 9:30~17:40  
 [1] 公開講座 9:30~12:00  
 [2] シンポジウム 13:00~17:40  
 [懇親会] 18:00~19:30

4月5日(水) 9:30~17:00  
 [一般講演] (口頭発表およびポスターセッション)  
 (1)海洋計測, (2)情報処理, (3)データ解析, (4)モデリング, (5)その他

詳細に関するお問い合わせは事務局まで  
 事務局：〒424 清水市折戸3-20-1  
 東海大学海洋学部内  
 TEL 0543-34-0411 (内線3424)